

船橋納税貯蓄組合同連合会 会長賞

税から生まれる笑顔

船橋市立海神中学校

第二学年

橋本 結花

夏休みのある日、私は駐屯地の花火大会を見に来ていた。入場料無料。お化け屋敷無料。手作りアスレチック無料。どこを見ても「無料」という文字ばかりで私はとても驚いた。花火は八百五十発も打ち上げられるというのに何もかも無料なのだ。ドドン。暗い夜空を照らすように、花火と笑顔が一斉に咲く。拍手と歓声の音が鳴り響くその光景は、とてもじゃないが、無料には見えなかった。とても価値があるものなのに、なぜお金を取らないのだろうか？と私は不思議に思った。

花火大会はもちろん、自衛隊などの活動は税金でまかなわれている。日本には約五十種類の税金があり、私が身近に感じているのは、消費税、入湯税くらいしかない。しかし調べてみると、日本でもつい最近まであった犬税や、他にもユニークな税金がたくさんあった。

自衛隊の方々も花火大会の運営が全ての仕事ではなく、災害があったときには、危険な場所でも救助してくれる。私達の安心安全な生活にも税金が関わっている。しかし、誰もがすべての公共サービスや公共施設を利用するわけではないので、一つの方法だけで税金を集めていると不公平が生じることから約五十種類という多くの種類の税金で分類されているのだ。私達が健康で文化的な生活を送るために、国や都道府県、市町村が個人でもない公共サービスや公共施設を無償で提供してくれている。もし税金がなかったら、子供の医療費や災害復旧などがすべて自己負担となり、大きな負担になってしまおう。予期せぬ出来事が起き、途方に暮れてしまおう。困っている人達はどれだけ救われたことだろう。このような生活に欠かせない費用を皆で出し合って支える重要な役割を果たすのが税

金なのだ。

私は、これまで税金といったら「増税」や歴史で習った「農民を苦しめる税」などと、マイナスなイメージを持っていたが、税金の使われ方や重要性を知って、私達の生活には無くてはならないものであり、たくさんの人々を笑顔にしてくれる素晴らしいものだといいことがわかった。世の中のために役立っている税金をこれからもっと深く関わるために勉強し、重要性を伝えていきたい。私も大人になったら納税者の仲間入りをするようになる。大人になっても、笑顔で安心安全に暮らすためにみんながお互いに支え合い、未来に向けてより良い社会を税金とともに作り上げていきたい。